



～いと～



知-ガン さわやかなあいさつ 文武両道 光る汗!

野木町立野木中学校 学校だより

令和7年度10月 特別号 文責:校長 星 育夫

全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査の結果について

4月に第3学年を対象に行われた全国学力・学習状況調査と第2学年を対象に行われたとちぎっ子学習状況調査について、本校の分析結果の概要を御報告いたします。本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

○全国学力・学習状況調査(3年生)の結果について

全国・栃木県平均と比較して ◇良い ◆課題がある

調査した教科において共通して…

◇本校の平均正答率は、全国、栃木県の平均正答率と同じくらいである。

◇記述形式の問題に対しても、意欲的に取り組んでおり無回答率が低い。

国 語

◇言葉の特徴や使い方に関する問題ができており、特に、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

◆文脈に即して、漢字を正しく使うこと。

数 学

◇「データの活用」の内容ができています。

◆「関数」についての理解が低い所がある。グラフからの読み取りはできるが、変化の割合について復習が必要である。

生徒質問調査より

◇国語・数学・理科のどの教科の学習活動に対しても、意欲的に学習している生徒が多い。

◇自己有用感（自分が他者の役に立っている、貢献できていると感じること）が高い。

◇向社会性（他者の利益になるような自発的な行動や利他的な行動傾向）が身についている。

◆規則正しい生活習慣、読書をする習慣が身につけていない。

○とちぎっ子学習状況調査(2年生)の結果について

栃木県平均と比較して ◇良い ◆課題がある □学校での対策

国 語

◇学ぶ意欲があるので、記述式の問題に対しても積極的に書いており、無回答率が低い。

自分の好きなように考え、表現することができる。

◆書く問題の中で「資料から読み取ったことをふまえて、自分の考えを明確に書く」問題

□生徒が自由に表現するだけでなく、その考えが指示に対して適切かどうかを判断する根拠をもてる授業を行う。

社 会

◆「複数の資料から読み取った内容を関連付けて考察し、表現する」など記述式の問題

□複数の資料を組み合わせて、必要な情報をまとめたり、根拠を示して自分の言葉で表記したりする等の「まとめ・要約の習慣化」を授業で行っていく。

数 学

◇選択形式の問題には、意欲的に取り組んでいる。

◇「データの活用」の問題

◆基本的な計算力、特に1次方程式の解き方

□グループで学習することで、対話的に学び、理解に繋がられるような授業を行う。

理 科

◇生物分野の正答が良いことから、身近な題材やイメージしやすい単元に対して意欲的に学習できている。

◆短答形式での問題での正答率が低い。

□学習内容の定着を図るために、似た語句、反対の意味の語句との違いをまとめたり、まとめた内容をプレゼンテーションしたりする授業を行う。

英 語

◇「聞くこと」の問題

◆日常的な話題に関する対話文を読んで、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある英文を書くこと。

□授業の Small Talk において、①身近なことを表現できるような場面②疑問詞を使った疑問文を自分で作る工夫③やりとりした内容をまとめる活動を繰り返し行う。

○学習状況調査の結果を受けて

調査結果を踏まえ、学校では課題となる傾向を全体で共有し、今後も授業や教育活動の改善、学びが将来につながる事が実感できる進路学習の充実に努めて参ります。

学校

- ①分かる喜び、知る楽しさ、できるよさが実感できる授業を展開する。
- ②各教科において、課題となったことに対して、改善できる取組を行う。
- ③進路学習の充実に努める。

家庭

- ①学校でのできごとや将来のことなど子供と会話すること
- ②規則正しい生活習慣と読書習慣の定着
- ③家庭での学習習慣、学習事項の定着

校長からのメッセージ

家庭学習が学力向上のカギです

4月に実施した調査の結果を全体的にみると、3年生は授業にも家庭学習にも真剣に取り組む姿が表れており、どの教科も確実に学力をつけていることがわかります。また、2年生は中学校に入学してからの1年間の学校生活で、授業に意欲的に取り組む姿勢が高まったと言えます。一方、小学校の学習内容も含む基礎基本の理解が不十分な点が見られます。授業で理解できた内容も定着させる作業をしなければ消えてしまいます。学習内容を定着させるには、その日のうちに授業で学んだ内容を再び思い出す(学びなおす)ことが有効です。お子様と帰宅後の時間の使い方や学習(時間や内容)について見直してみてください。(持ち帰っているタブレットも学び直しのためのアイテムとして大いに活用してください。)

野木中全体では、学習内容を実生活や社会と結びつけて考えたり、根拠を明らかにして他者にわかりやすく伝えたりすることが苦手な生徒が多いようです。できるだけ広いジャンルの本や新聞記事などを短時間でも読む習慣をつけてほしいと思います。続けるうちにいつの間にか読解力だけでなく、広い視野と論理的思考や表現力が身につきます。